

ふるさとを愛し、夢を育み、子どもが主役の楽しい学校の創造



# 大正っ子

帯広市立大正小学校  
Obihiro Taisyou

Elementary School

令和6年9月18日



文責：田中善久

## ゲームはきまりや約束を守って!

子供たちの会話に耳を傾けると、あるゲームの人気の高まっているようです。どのゲームでもいえることですが、目を離してしまうと一日何時間も遊んでしまったり、中毒状態になってしまったりと、心配される保護者の声が全国的に広がっているようです。まず、これらのゲームに含まれる心配な点を知ることが、安全な使い方につながるのではないかと考えます。

特に最近のゲームはマルチプレイヤーゲームといわれ、チャット機能を使い、見ず知らずの人と遊ぶことができます。そのため不適切な表現を聞かされ不快な思いをしたり、子供を装った大人から接触されたり、オンラインでのいじめや仲間はずれが起こったりなど、子供の安全に関わる心配な点が多くあります。

また、これらのゲームは無料でダウンロードできるものがほとんどですが、アプリ内購入で武器やコスチュームなどを購入するとお金がかかります。一連のアプリ内購入可能アイテムを手に入れるため、クレジットカードを使って多額の無断購入をしてしまう子供もいるとニュースで聞いたことがあります。

勝つことが難しいゲームでは、プレーを重ね、負ける体験を重ねることで、怒りの感情が生まれたり、不安やストレスを感じたりするケースがあるようです。バーチャルとリアルの違いがわからなくなり、暴力的な行動をとるなども考えられます。

まず一番大切なことは、ゲーム使用時間に気を付けることです。ゲームをする前に行うべきことをする(宿題など)、ゲーム使用時間を決めるなど、家庭内のルールをつくるのがとても大切です。

また、長時間画面を見ることによる視力低下や健康被害についても気をつけなければなりません。

ゲーム機には使用時間を制限する機能がありますし、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの場合は、アプリやウェブ閲覧の制限時間を設定する監視用ソフトウェアがあります。それらを利用し、子供を守る方策も考えられます。

次にチャット機能については、無防備で使用することでどのような危険があるのか、しっかりと伝えることが必要です。マルチプレイヤーゲームとしての機能は使わない方がよいでしょう。自分の友達とチャット機能で遊ぶ場合は、ご家庭同士で使用時間や、ケンカしたり、仲間外しをしたりしないなどのルールを決めることが理想的だと思います。

アプリ内購入については、子供の夢中度により、購入の誘惑を断ち切るためアプリ内購入の権限を与えなかったり、毎月・毎週の購入限度額を設定したりすることが大切だと思います。

最後に子供の様子についてです。ゲーム使用と感情のアップダウンの関連が顕著であれば、ゲームの時間やゲームの自分への影響などについてよく話し合い、自分を守るために必要な選択肢を一緒に考えてあげることが大切です。

これからは、情報化社会から超スマート社会へと移り変わっていきます。

**「使わせない」方策から「安全に使えるようにする」方策への転換**が必要です。

学校では各教科等を通して「情報社会を生きていく上で必要な態度や考え方」を育む情報モラル教育を行っていますので、ご家庭でもゲームを子供に預けっぱなしにするのではなく、ルールや責任について考えさせる機会をつくっていただければと思います。



